

令和8年度保健師ステップアップ研修【ベーシック編】

目指したい保健師像を考える ～キャリアラダーに基づいた目標設定～

2026年7月1日

埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科

柴田亜希 伊草綾香 菊池宏

ねらい

目指す保健師像を描き

なりたい自分の実現に向けた**目標設定**ができる

目標

- 行政保健師に必要とされる専門的能力, 新任期に特に伸ばしたい能力を理解できる
- 目指す保健師像を言語化できる
- 専門的能力に係るキャリアラダーに基づいて, 1年後に目指す保健師像に向けた目標設定ができる

内容とスケジュール

時間	項目	内容
25分	演習①	・グループ討議 「保健師の役割と専門性とは？」
30分	講義	・保健師に求められる能力と役割 ・保健師の専門的能力に係るキャリアラダー
45分	演習②	・個人ワーク・グループ討議 「目指す保健師像と目標設定」
20分	まとめ	・全体共有 グループで話し合った内容の発表

演習①

「保健師の役割と専門性とは？」

演習① 保健師の役割と専門性とは？

時間の目安	内容
10分	オリエンテーション アイスブレイク
15分	グループ討議① 「保健師の役割と専門性」について意見交換する

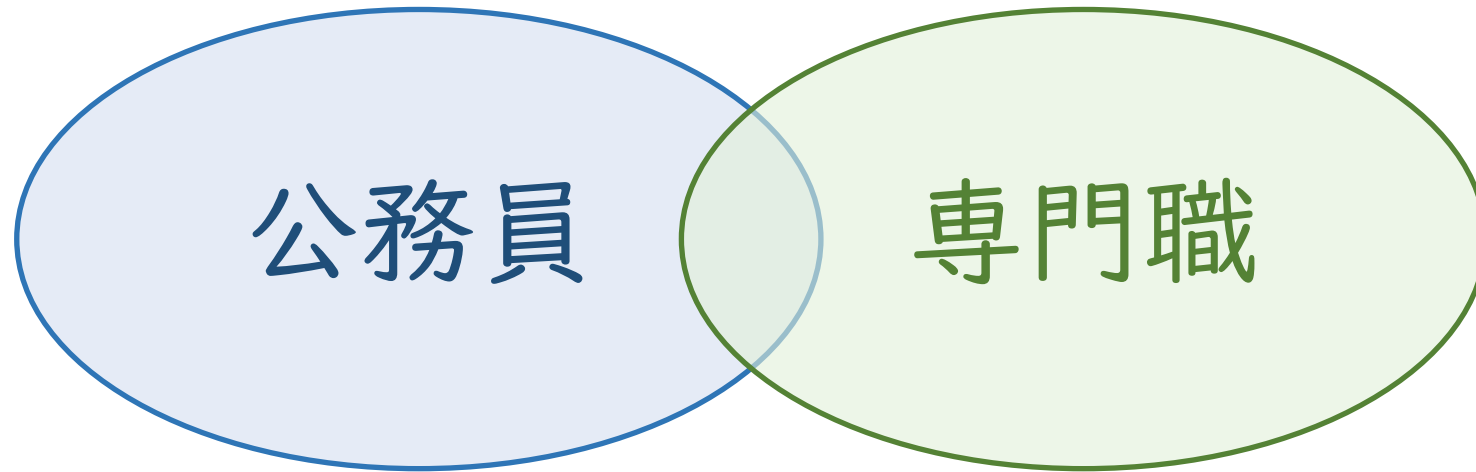
講義

保健師に求められる能力と役割

～専門的能力に係るキャリアラダーとキャリアレベルの確認～

埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科
柴田亜希

行政保健師とは



地域に暮らす全ての人々がよりよく在ることができるよう、
将来を見据えながら健康課題の解決に取り組む公衆衛生
(地域保健)の専門家

行政保健師に求められる能力

専門職としての**実践的能力**のみならず、
連携調整能力が求められる

保健医療関連施策は分野横断的に取り組まれていることから、
部門間の連携調整は不可欠

保健師活動指針

- 1 地域診断に基づくPDCAサイクルの実施
- 2 個別課題から地域課題への視点及び活動の展開
- 3 予防的介入の重視
- 4 地区活動に立脚した活動の強化
- 5 地区担当制の推進
- 6 地域特性に応じた健康なまちづくりの推進
- 7 部署横断的な保健活動の連携及び協働
- 8 地域のケアシステムの構築
- 9 各種保健医療福祉計画の策定及び実施
- 10 人材育成

保健師のコアバリューとコアコンピテンシー

	項目	定義
コアバリュー 保健師の価値・規範であり、行動や意思決定の基準となる根源的な考え方	1 健康の社会的公正	すべての人々/コミュニティに生じる健康格差や健康の不公正の是正に取り組み、健康に資する公正な社会環境を構築/創造する。
	2 人権と自律	すべての人々/コミュニティにおける人権侵害の回避に努め、健康に関する権利を衛り、主体的な意思決定を尊重する。
	3 健康と安全	すべての人々/コミュニティの健康・安全を損なうリスクの発見/最小化に取り組み、健康で安全な生活を送ることを保障する。
コアコンピテンシー 保健師の中核となる能力であり、考え方や姿勢、行動特性が含まれる	1 プロフェッショナルとしての自律と責任	保健師としての責任を自覚し、自身の知識・技術の開発・更新を図り、社会的信用を確保するとともに、専門性を高める。
	2 科学的探究と情報・科学技術の活用	情報科学・科学的技術を活用し、エビデンスに基づく実践の基盤となる専門的知識・技術を開発・普及する。
	3 ポピュレーションベースのアセスメントと分析	対象となる人々/コミュニティの特性や実態を多角的に捉え、横断的/縦断的なアセスメントと分析により、顕在的/潜在的なニーズと優先度を明確化する。
	4 健康増進・予防活動の実践	人々/コミュニティの実態に応じて、その力量形成とリスク回避に向けて、健康増進と予防を促進する活動を実践する。
	5 公衆衛生を向上するシステムの構築	社会全体の健康水準の向上に向けて、必要な事業化・施策化、社会資源開発、体制整備を行う。
	6 健康なコミュニティづくりのマネジメント	人々/コミュニティの健康に資する計画、実施、評価、改善を組織的/総合的に展開・管理する。
	7 人々/コミュニティを中心とする協働・連携	主体となる人々/コミュニティ、および多職種・多機関とともに、パートナーシップのもと、目的・目標の達成に向けて、役割・機能を発揮する。
	8 合意と解決を導くコミュニケーション	人々/コミュニティに寄り添い、全体の調和を伴う合意の形成や課題の解決を、対話/調整を通して行う。

保健師人材育成プログラム

保健師の能力向上と質の高い地域保健活動の実現に向けて、
組織的・継続的な人材育成の方向性を示す指針

保健師活動の領域

- 対人支援活動
- 地域支援活動
- 事業化・施策化のための活動
- 健康危機管理に関する活動
- 管理的活動
- 保健師活動の基盤

対人支援活動

■ 個人・家族への支援のための能力

地域に暮らす人々の多様な生活を理解し、多面的なアセスメントに基づいて個人・家族への支援を行い、その評価を次の支援につなげる

■ 小集団への支援のための能力

グループを対象に健康課題解決のためのアセスメント、支援、評価を実施する

■ ケース・マネジメント能力

必要な資源を活用し、関係機関との連携を調整し、効果的・効率的な支援を行う

地域支援活動

■ 地区活動のための能力

地区の健康課題を明確化し, 地域住民や関係機関と協働して課題解決を図る
地域住民の権利擁護を行うとともに, 個別事例を管理する

■ 地域組織支援のための能力

地域の健康課題に応じて地域組織を育成し協働する

■ 保健事業の実施・評価のための能力

計画した事業を地域で実践し, その成果を評価する
地域の代表者と交渉・調整し, 協働活動を推進する

■ ケアシステム構築・地域ケアの質の評価のための能力

地域の健康課題に基づき, 制度やケアシステムの構築・運営・改善及び評価を行う

事業化・施策化のための活動

- 施策化・自治体レベルの計画策定のための能力
- 中長期計画策定・評価の能力
- 事業計画作成・評価の能力
自治体の施策体系と法的根拠の理解, 計画のレベルと内容に合わせた地域データ収集と分析に基づいた計画の立案・評価能力 (疫学, 統計, 研究的手法の活用能力)
- 予算獲得のための能力
自治体の財政システムの理解, 計画の必要性の説明

健康危機管理に関する活動

■ 平常時の健康危機管理に係る能力

地域の特性や健康課題を把握し、関係機関との連携体制の整備、住民への啓発、受援体制の構築、研修・訓練の実施を通じて健康危機管理体制を強化する

■ 健康危機発生時に対応できる能力

情報収集・分析に基づき対策を立案・実施・評価し、関係機関と連携して健康被害の拡大防止及び二次的健康被害の予防に取り組む

■ 自組織以外での健康危機発生時に支援する能力

被災自治体への支援に必要な知識・技術を習得し、関係機関と連携して支援活動を行うとともに、その経験を健康危機管理体制の強化に活かす

管理的活動

- PDCAサイクルに基づき, 所属部署内外の関係者ととともに, 事業評価, 施策評価, 保健活動の効果検証を行い, 必要な見直しを行うことができる能力
- 組織内外の保健活動に係る情報を適切に保管, 開示, 保護する能力
- 組織の人材育成方針を理解し, 保健師の人材育成計画を作成する能力
- 学会への参加や発表など専門職としての自己研鑽や自己開発の能力
- 後輩を指導育成する能力

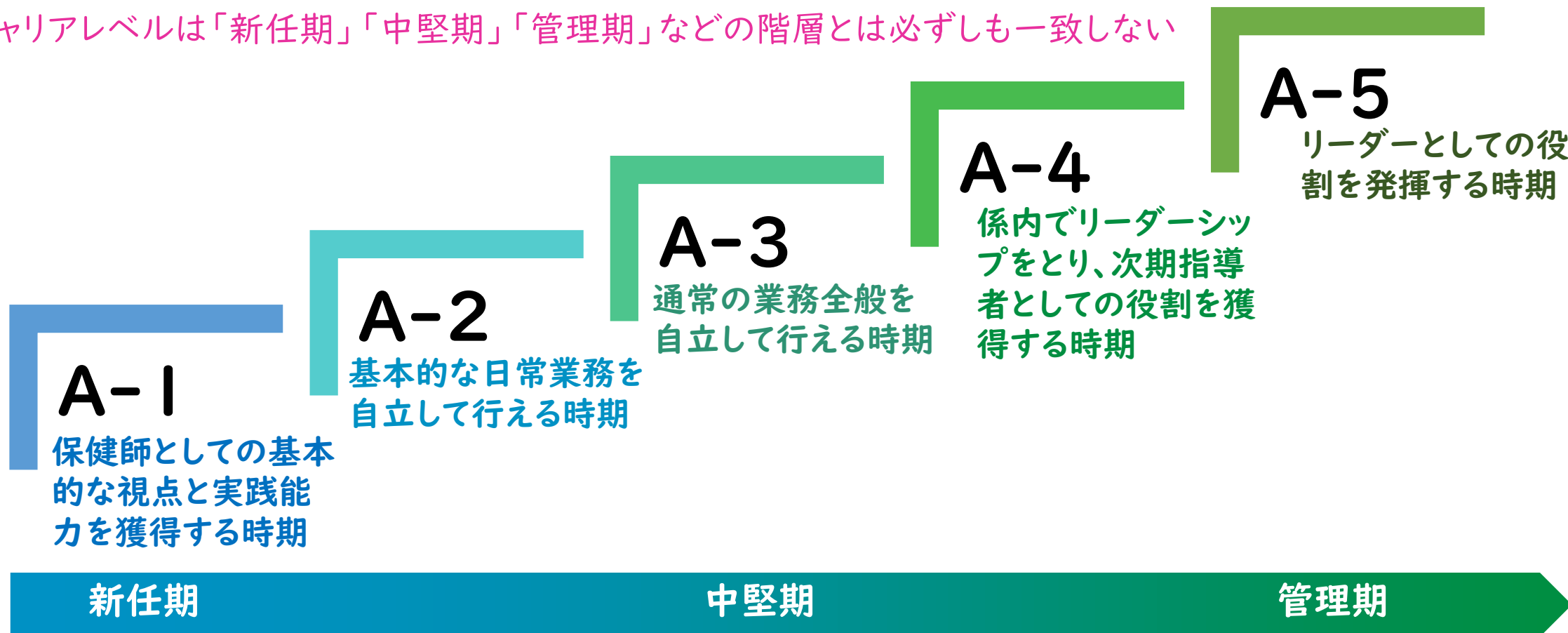
保健師活動の基盤

- 保健師の活動の理念である社会的公正について理解して、活動の倫理的判断ができる能力
- 個人・家族・組織の持つ多様な価値観を理解し、それぞれの対象と多様なコミュニケーションを取れる能力
- 活動においては、自己の能力を客観視でき、自己の限界を理解して他者と協働して、保健活動を進めることができる能力
- 自己管理能力
(自己の健康管理ができること、メンタルヘルスの管理ができること)

専門的能力に係るキャリアラダーとキャリアレベル

- キャリアラダー:保健師に必要な能力を段階的に示したもの
- キャリアレベル:キャリアラダーにおける能力の到達段階

*キャリアレベルは「新任期」「中堅期」「管理期」などの階層とは必ずしも一致しない



埼玉県自治体保健師のキャリアラダー：A1レベル

所属組織における役割

- ・ 組織の新任者であり、行政組織人および保健師専門職としての自覚を持つ

責任を持つ業務の範囲

- ・ 担当業務を的確に把握・理解し、個別事例に対して責任を持つ

専門技術の到達レベル

- ・ 基本的な事例への対応を主体的に行う
- ・ 地域活動を通して地域特性や地域資源を把握し、地域の人々の健康課題を明らかにする

AIレベルにおいて求められる能力

1 対人支援活動

1-1.個人及び家族への支援

- ・個人及び家族の健康と生活について分析し健康課題解決のための支援計画を立案できる
- ・個人及び家族の多様性や主体性を尊重した支援を指導を受けながら実践できる
- ・支援に必要な資源を把握できる

1-2.集団への支援

- ・集団の特性を把握し、指導を受けながら支援できる

2 地域支援活動

2-1.地域診断・地区活動

- ・指導を受けながら、担当地区の情報を収集・分析し、健康課題を明確化できる

2-2.地域組織活動

- ・地域特性を理解し、住民と共に活動できる。
- ・多様な地域組織の役割や関係性について把握できる

2-3.ケアシステムの構築

- ・担当地区の各種サービスとその関係性を理解し、指導を受けながら担当事例に必要なサービスを活用できる

AIレベルにおいて求められる能力

3 事業化・施策化のための活動

3-1.事業化・施策化

- ・所属自治体の施策体系や財政のしくみについて理解できる
- ・担当事業の法的根拠や関連施策について理解し事業を実施できる

4 健康危機管理に関する活動

4-1.健康危機管理の体制整備

- ・関係法規や健康危機管理計画及び対応マニュアルを理解できる
- ・健康危機に備えた住民教育を指導を受けながら行うことができる

4-2.健康危機発生時の対応

- ・健康危機発生後、必要な対応を指導者の指示のもと実施できる
- ・現状を把握し、情報を整理し、上司に報告することができる

AIレベルにおいて求められる能力

5 管理的活動

5-1.PDCAサイクルに基づく事業・施策評価

- ・PDCAサイクルに基づく事業評価方法を理解できる
- ・担当する事例に係る評価結果に基づき支援方法の見直しができる

5-2.情報管理

- ・組織における情報管理に係る基本指針を理解し、業務に係る文書等を適切に管理できる
- ・保健活動上知り得た個人情報を適切に取り扱うことができる
- ・業務の記録を適切に行い関係者への情報伝達ができる

5-3.人材育成

- ・組織の人材育成方針及び保健師の人材育成計画を理解できる
- ・自己の成長を振り返り、次の成長につなげることができる

6 保健師の活動基盤

- ・根拠に基づく保健活動を実施するため、実施した保健活動の記録を適切に行うことができる
- ・保健師の活動の理念である社会的公正性・公共性について理解し、活動を倫理的に判断できる

新任期保健師が特に伸ばしたい能力

■ 個別のアプローチの必要性を理解して実践する

- ・相談、面接、家庭訪問などの個別支援
- ・記録し、まとめる力
- ・コミュニケーションスキル
- ・上司への報告・連絡・相談

■ 公衆衛生の視点で地域を見る目を養う

- ・健康教育の実施運営などの集団支援
- ・関わった事例や地域住民、統計等の既存資料から地域ニーズを抽出する力

■ 保健師としてのアイデンティティを実感する

個別アプローチを実践する

- 対象を理解する
 - ・訴えだけでなく困りごとの背景を理解する
 - ・暮らしや価値観を理解する
- 信頼関係を築く
 - ・本人や家族, 住民との信頼関係
 - ・関係機関との信頼関係
 - ・上司や先輩, 同僚との信頼関係
- 連携して支援する
 - ・多職種や多機関との連携
 - ・報告・連絡・相談

コミュニケーションは, そのすべてを支える基盤となる

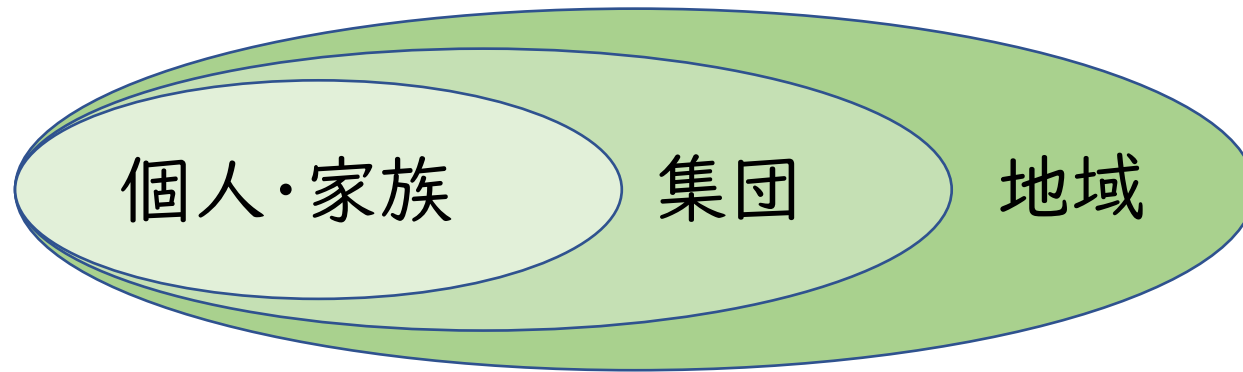
公衆衛生の視点で地域を見る

■ 個をみて地域をみる

個別事例の背景にある地域に共通する問題に目を向けて、地域全体の課題として捉える

■ 地域をみて個を支える

地域の社会資源を把握し、個人や家族の健康課題の解決に活用する



保健師としてのアイデンティティとは

保健師の職業的アイデンティティ*

自らの志向, 行動に結びつく, 常に保健師であるという職業に対する意識であり, 日々発達していくもの



「保健師に対する考え方や、自分と保健師との関係についての認識」

例えば、

- ・保健師とは何をする職業なのか
- ・保健師とは何を目的に活動するのか
- ・私はなぜ保健師として働くのか
- ・私はどのような保健師でありたいのか

といった問いに向き合いながら, 自分なりの考えを深めていく

*根岸ら, 「行政保健師の職業的アイデンティティ尺度」の開発と関連要因の検討. 日本公衆衛生雑誌, 57(1), 27-31, 2010

目指す保健師像を思い描く

- 人は、人とのかかわりの中で自分を知る
- 地域での実践を通して、「私は保健師として何ができるのか」を見つけていく
- 住民や地域, 多職種, 先輩や同僚とのかかわりを通して, 自分らしい保健師像を育てていく



まずは“目指す保健師像”を描くことが第一歩

- ・目指す保健師像があることで、**目標が明確**になる
- ・目標があることで**評価が可能**になる

専門的能力の評価

目指す保健師像に近付けたかを確認するために、保健活動を振り返る

そのために

キャリアラダーを活用し、専門的能力の到達度や課題を評価する
〔自分自身で（自己評価） / 上司や先輩と一緒に（他己評価）〕

キャリアラダーは、**目指す保健師像の実現**に向けて、
自らの**成長を振り返り**、さらなる**成長**につなげるためのツールとなる

演習②

「目指す保健師像と目標設定」

演習② 目指す保健師像と目標設定

時間の目安	内容
10分	・個人ワーク 目指す保健師像と目標設定の見直し
35分	・グループ討議② 「目指す保健師像と目標」について意見交換

目指す保健師像に向けてできること

- キャリアラダーを活用して活動を振り返る
- 経験できたこと・できていないことを整理する
- 課題を明確にし, 次の目標を設定する
- 日々の実践につなげる

おわりに

日々のどんな仕事も“保健師の仕事”です

実践として意味づけてみてください

保健師という仕事を楽しんでください